

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス豊見城教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10件	(回答数) 10件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先との連携と、状況に応じて柔軟に対応する動きがしっかりしている。	・訪問時に取り組んだ支援を共有し、どの授業に入る必要があるのか等も含め、先生方と一緒に必要な支援を考えている。	・同じ教科でも、取り組み内容によって状況が変わってくるが大いにある為、児童の課題や訪問したい目的等をお伝えし、必要なタイミングで訪問が出来るようにすり合わせを行っていく。
2	・会社全体で定期的にミーティングを行えている事で、様々なケースや事例を共有し合い、各資格保有者も含めて専門的な対応することが出来ている。	・他事業所の事例を踏まえて共有を行うことで、今後事業所で起こり得る事を想定し、対策を立てて訪問を行っている。	・訪問先に許可を取った上で訪問員のOJTを行い、訪問先の方針や支援方法を理解する人材を育成していく。
3	・当事業所の放課後等デイサービスと併用している為、事業所の様子や療育状況も併せて支援ができること。	・普段から支援の共有を行うことで、集団の場においても児童の課題や長所を確認することができ、訪問先での出来事を事業所ミーティングの際に共有することで、療育にも活かすことが出来ている。	・今後も訪問先の先生方としっかり連絡調整を行い、信頼関係を築くことで支援の質を深めることができるように致します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・学校の先生方が連絡を取れる時間帯が、放課後等デイサービスのサービス提供時間と重なるので、連絡の行き違いや失念につながる事がある。	・放課後等デイサービスの児童対応に追われていること。 ・事後報告ができていないこと。	・放課後等デイサービスの児童対応に追われるのはもともとわかることなので、その日の職員の動きを共有するために作成している予定表に記載し、職員個人の意識を高めながら、リーダーに報告義務を課して完了報告を怠らないように努める必要がある。
2	・訪問先の先生に報告する時間が十分に取れないこと。	・訪問先の先生に報告する時間が、放課後等デイサービスのサービス提供時間とかぶっていること。	・訪問終了後に直接報告時間の調整を行うことが難しい為、訪問報告書の内容を細かくし、文書だけの報告でもお伝えできるように工夫が必要である。
3	・訪問日の調整が月末ギリギリになってしまう事がある。 (基本的に月2回のサービス利用が支給されている)	・他の業務との兼ね合いで後回しになってしまう場面が少なからず出てしまっている。 突発的なスケジュールも含め、スケジュール調整が上手くできていない事がある。	・先生方の負担にならないように、月初の早い段階で訪問が必要な授業を確認し、支援が必要なタイミングを逃さないように学校お迎え時等に日程調整が出来る様工夫していく。